

2017 年九州北部豪雨災害調査団 報告会

～防災と環境を見据えた持続可能な故郷の再生に向けて～



日本応用地質学会

このたび、一般社団法人日本応用地質学会では、平成 29 年 7 月に発生した九州北部豪雨災害の調査報告会を開催致します。

学会調査団は、九州のみならず全国から会員が集結して組織し、被害の調査に取り組んでまいりました。

災害から 1 年近くが経ち、再び雨が降り多い季節を迎える前に、地域にお住まいの方がたの今後の防災に役立てていただきたく、この報告会を企画致しました。

連休にかかりますが、興味のある方は是非ご参加ください。

日 時：平成 30 年 4 月 28 日（土） [開場] 12:30 [開会] 13:00-16:50

場 所：杷木地域生涯学習センター

杷木文化ホール（らくゆう館）

福岡県朝倉市杷木池田 483-1 朝倉市役所杷木支所隣

定 員：200 名

参加費：無 料

CPDH：3.16

資 料：講演資料 500 円、調査団報告書 3000 円（希望者に販売）

主 催：一般社団法人 日本応用地質学会

後 援：福岡県、朝倉市、東峰村、国土交通省九州地方整備局、農林水産省九州農政局
九州大学平成 29 年 7 月九州北部豪雨災害調査・復旧・復興支援団
公社）日本技術士会九州本部、公社）地盤工学会、九州応用地質学会



開場・受付開始 12:30 ～

資料、アンケート用紙 配布

総合司会 撰田 克哉（日本地研）

開会挨拶 13:00 ～ 13:05

調査団長 井口 隆（防災科学技術研究所）

講演 13:05 ～ 16:00 各 20 分 途中休憩 15 分

1. 災害概要

矢田 純（カミナガ）

2. 地すべり・崩壊の発生状況

松澤 真（パシフィックコンサルタンツ）

3. 土砂流出の状況

池見 洋明（九州大学）

4. ため池の被災状況

小徳 基（九州農政局）

5. 寺内ダム流域の被災状況と防災施設の効果

松尾 達也（土木研究所）

6. 流木の発生と植生の防災効果

太田 岳洋（山口大学）

7. 防災教育とアウトリーチ

清崎 淳子（CROSS-ENGINEERING）

8. 東峰村における住民の避難行動分析斜面災害について

野々村敦子（香川大学）

パネルディスカッション 16:15 ～ 16:45

座長 稲垣 秀輝（環境地質）

挨拶 16:45 ～ 16:50

調査副団長 黒木 貴一（福岡教育大学）

申込先（問い合わせ先も同じ） （一社）日本応用地質学会事務局

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 2-3-14

お茶の水桜井ビル 7F

TEL:03-3259-8232 FAX:03-3259-8233 E-mail: office@jseg.or.jp

2017 年九州北部豪雨災害調査団 報告会 参加申込書

日時：平成 30 年 4 月 28 日（土） 開場 12:30 報告会 13:00 - 16:50

会場：杷木地域生涯学習センター杷木文化ホール（らくゆう館）

福岡県朝倉市杷木池田 483-1

■企業名／団体名	
■TEL	■E-mail（代表者）
■参加者氏名	■参加者氏名
■参加者氏名	■参加者氏名

- * 上記個人情報、当報告会事務局内での事務処理、参加者への返信・連絡に限り利用いたします。
- * E-mail で申し込まれる場合は、メールタイトルを「九州北部豪雨災害調査団報告会参加申込」とした上で、上記事項を本文に記入し、送信してください。

申し込み締切は 4 月 23 日（月）ですが、定員に達し次第、締め切らせていただきますので、お早めに申し込み下さい。